



永年にわたり地方自治に大きく貢献

佐々木節哉さんが高齢者叙勲を受章

11月12日、元門別町議会議員で緑町に在住の佐々木節哉さんが、この程、永年にわたる功績により、高齢者叙勲 旭日単光章を松浦英則北海道日高振興局長から伝達されました。

佐々木さんは、昭和62年5月に当選以来、平成18年までの5期19年間、町議会議員として在職し、この間、総務常任委員長等の要職を歴任され、地方自治の伸展に大きく貢献されました。



書道や生け花、手芸など多数が展示

平成30年度「日高町文化祭」(門別地区)

11月2日から11月11日にかけて門別総合市民センターで「日高町文化祭」(門別地区)が開催されました。

発表部門では、町内で活動する民謡やバレエ、カラオケなどのサークル19団体が日頃の練習の成果を発表し、訪れた観客を沸かせていました。

展示部門では、書道や生け花、手芸などの展示作品の他、囲碁大会やお茶会、将棋まつりが行われ、訪れた人を楽しませていました。



うさっぶスポーツクラブ スポーツで世代間交流

11月10日、総合型地域スポーツクラブ「うさっぶスポーツクラブ」主催による、うさっぶスポーツの集いが開催され、幼児からお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん世代まで、約100名が紅白に別れてスポーツを楽しみました。

当日は日高町高齢者大学「沙流川大学」の講座も兼ねており、普段はあまり運動をする機会がない方でも無理なく楽しめる種目が設定されているため、参加者はスポーツを通じて世代を超えた交流を楽しんでいる様子でした。

昼食は、日高町婦人会が作った美味しい豚汁とおにぎりに舌鼓を打ち、その後は特産品や入浴券が当たる抽選会で盛り上がるなど、会場には笑顔と笑い声が溢れた楽しい秋の一日となりました。



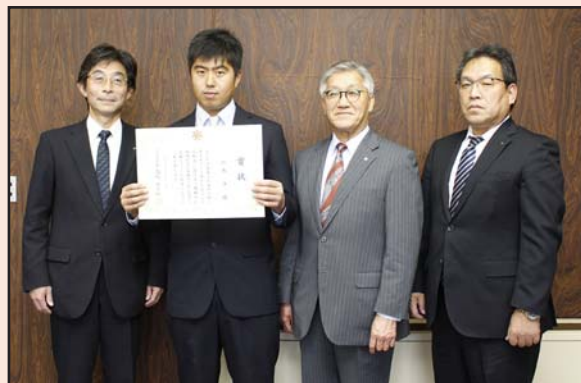
地震を乗り越え迎えた最終日

ホッカイドウ競馬2018シーズン終了

11月15日、ホッカイドウ競馬2018シーズンが最終日を迎え、門別競馬場にはたくさんの競馬ファンが訪れました。

9月6日に発生した北海道胆振東部地震の影響から、7日間が中止になりましたが、11月には3日間を追加して開催し、馬券発売額は昨年を上回りました。

最終レース終了後に開催されたジョッキー交流会に参加した方は、「地震の被害が大きかったから、もう今年は来れないと思いましたが、またここで競馬ができてうれしい」と話していました。



「平成30年度北海道青少年顕彰」全道17名1団体選出

平賀の農家 山本涉さんが受賞

11月12日、平賀で農業を営む山本涉さんが平成30年度北海道青少年顕彰を松浦英則北海道日高振興局長から伝達されました。

山本さんは町内の農業者で組織する4Hクラブで活動し、平成27年に日高管内農業研究大会で「びらとりイチゴ」づくりにかける思いを発表し審査員特別賞を受賞、また、同年にはびらとり農協青年部富川支部長に就任し、地域の若手農業者として、大きく期待されています。



日高、平取の柔道少年団が参加

第46回日高西部スポーツ少年団「防犯柔道大会」

12月1日、門別総合町民センターで門別地区防犯団体連合会(大鷹千秋 会長)が主催する第46回日高西部スポーツ少年団「防犯柔道大会」が開催されました。

同大会は柔道の技術の向上を目指すだけでなく、青少年の非行防止対策に資することを目的として開催され、日高町、平取町の柔道スポーツ少年団10名が参加しました。

大会では型演舞と紅白試合が行われ、紅白試合では必死に一本を取りに行く選手の姿が見られました。



ベートーヴェン・ショパンなどの名曲を披露

外山啓介ピアノ・リサイタルin Hidaka II

11月18日、ひだかdeコンサート(郷恭博 会長)主催による「外山啓介ピアノ・リサイタル in Hidaka II」が門別総合町民センターで開催され、約350名の方が来場しました。

外山啓介さんは過去に日本音楽コンクールで第1位を獲得し、これまで国内のみならず世界各地で演奏されてきました。

この日はベートーヴェン、ショパン、リストなどの名曲といわれる数々を演奏され、来場者から大きな拍手がおくられました。